

## 「優れた外科手技を持つ医師への称号付与」について

本学では、附属病院に勤務する医師・歯科医師の中で「優れた外科手技を持つ者」に対して、「奈良医大（部位等）マスター」の称号を付与する制度を設けました。これは、優れた外科手技（例：各部位における外科手術、心臓カテーテル等）を持つ医師・歯科医師が、その優れた能力や技術を教育・研究・診療に供するとともに、附属病院における医療の充実と質の向上を図ることを目的としています。

優れた外科手技を有する医師・歯科医師とは、たとえば各施設からの見学者がその手技に感心し、「なるほど、優れた手技だ」と納得する、といった技量を自他共に有し、また外科手技に優れているだけではなく、医学知識の取得や外科技術の研鑽に強い意欲を持ち、人格高潔な人物を対象とします。「奈良医大（部位等）マスター」の称号を付与される者を選考するにあたっては、所属長の推薦に基づき、学内の「選考委員会」が書類審査、面接、実技審査等を行い、理事長が称号を付与します。

平成 28 年 10 月

奈良県立医科大学